

はじめに

この本を手にとっていただきありがとうございます。
保育現場で働き始めた方や、保育実習に行く前に手に取ってくださった方もいらっしゃるでしょうか。
ようこそ保育の世界へ。

保育者の仕事はどのようなものなのかを、詳しくまとめた本ができました。

子どもたちとの毎日をどのように過ごしたらよいのか、職員としてどのようにふるまうとよいのかを紹介しています。

平成29年に保育所保育指針が改定され、この本では改定の内容を意識した保育についても紹介しています。

日本における保育は、近年ますます重要性を増してきて注目を集めています。

また世界的にも、これからの変化の大きな社会を生き抜くために必要な力として、非認知的能力などが必要と言われ、乳幼児期の保育や教育の重要性が注目されています。

このような社会的な背景を反映させて、大幅な改定が行われました。

保育所、幼稚園、幼保連携型認定こども園は、日本における幼児教育施設として位置付けられました。そのことにより、「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」「5領域」などの、3.4.5歳児の保育に関わる記載が大きく改定されました。

また、乳児保育をはじめとする、0.1.2歳児の保育の記載も大きく改定されています。

乳幼児期からの子どもの育ちの連続性がますます大切になり、しっかりと保育が行われることが期待されています。

この本は、このような教育の大改革の流れを理解した上で、毎日子どもたちとの生活で何を大切にすべきなのかをまとめています。

保育のために保育者は何をするとよいのか、保育者として生きるとはどのようなことなのかを、細かく示しています。

この本が、保育者のみなさんと子どもたちとの毎日を充実させる実践のためのヒントになればと願っています。

2018年4月

編著者 汐見稔幸
大方美香

イラストでわかる！

3.4.5 歳児 担任のおしごと まるわかり！



はじめに	2
新しい保育所保育指針に対応した保育をしよう！	8
3.4.5 歳児の発達を捉えて保育をしよう！	9

第1章 ステキな保育者になるために！

1 社会人としての第一歩！	12
2 保育者として働くとは？	18

第2章 子どもに生活習慣が身につくように援助する

1 生活習慣を身につけることはなぜ大切なの？	28
2 排泄 うんち、おしっこも楽しくトライ	30
3 清潔 きれいは気持ちいい♪ (手洗い、うがい、歯みがき、鼻かみ)	32
4 食事 おいしく楽しく食べよう！	34
5 着脱 自分でできるとうれいね！	36
6 挨拶 元気にできたらステキだね	38
7 午睡 安心してゆっくりおやすみ	40

第3章 子どもの遊びを援助する

1 遊びって大事なこと	42
遊びの環境をつくろう！／子どもの遊びを見よう／ 子どもの遊びを豊かにする／ 子どもが主体的に、試行錯誤できるように／ 「やってみたい」から「できる」へ	
2 3.4.5 歳児の遊びを理解するために	48
3.4.5 歳児に至るまでの遊びの変化／ 見ている遊び（乳児）／援助を受けたやりとりの遊び（乳児）／ 一人遊び（乳児～幼児）／平行遊び（乳児～幼児）／ 連合遊び（幼児）／ルールのある遊び（幼児）	
3 「ねらい」「内容」に合わせた遊び	54
楽しいごっこ遊び／ワクワク造形遊び／ みんなで音楽・リズム遊び／やんちゃも楽しい運動遊び／ のびのび楽しい自然遊び／考える力を育む構成遊び／ 心も育てる言葉遊び／昔を伝える伝承遊び／ 子どもの育ちが見える異年齢の遊び	

第4章 子どもとのコミュニケーション

1 朝のスタート！こうするとうまくいく！	64
2 こうすると登園や集まるのも楽しくなる！	66
3 こんな話し方、伝え方が子どもの心をつかむ！	70
4 こんな寄り添い方が子どもには嬉しい！	72
5 子どもを認めるにはコツがある！	74
6 けんかのはつきもの！こう対応しよう	76
7 けんかが多発する時は環境を見直そう	78
8 ワクワク学べる異年齢との関わり	80

第5章 行事もこんなふうにと うまくいく!

- 1 通うのが楽しみになる入園式 84
- 2 進級時はしっかり安心感をもたせよう! 86
- 3 真剣に向き合いたい避難訓練 88
- 4 保護者に安心感をもってもらおう保育参加 90
- 5 ワクワクを育てる園外保育 92
- 6 子ども自身が成長を感じる運動会のコツ! 94
- 7 子どもの自信につながる作品展・生活発表会 96
- 8 親子の思い出に残る卒園式 98

第6章 信頼される保護者対応・ 子育て支援

- 1 園の保護者と地域の保護者への支援 100
- 2 保護者に感謝される登降園時のやりとり 102
- 3 日頃の様子がいかがやき伝わるおたより作り 104
- 4 子どもの育ちを一緒に喜ぶドキュメンテーション 106
- 5 保護者との絆がグッと深まる個人懇談のコツ 108
- 6 園の活動がいかがやき理解されるクラス懇談のコツ 110
- 7 好感度もアップする対応のポイント 112
- 8 地域の保護者に親近感をもってもらおう 114
- 9 保護者とのやりとりで大事なポイント 116

第7章 子どもの学びを支える

育みたい 資質・能力

- 「知識及び技能の基礎」を意識した保育って? 118
- 「思考力、判断力、表現力等の基礎」を意識した保育って? 120

「学びに向かう力・人間性等」を意識した保育って? 122

保育の基本となる 5 領域

- 健康 124
- 人間関係 126
- 環境 128
- 言葉 130
- 表現 132

保育でめざす 10 の姿

- 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (10 の姿) 134
- 健康な心と体 136
- 自立心 138
- 協同性 140
- 道徳性・規範意識の芽生え 142
- 社会生活との関わり 144
- 思考力の芽生え 146
- 自然との関わり・生命尊重 148
- 数量・図形、文字等への関心・感覚 150
- 言葉による伝え合い 152
- 豊かな感性と表現 154
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10 の姿) で
保育を見直す 156

第8章 指導計画、PDCAについて

v

v

新しい保育所保育指針に 対応した保育をしよう！

保育所保育指針は、保育とは何か、保育で大切にすべきことは何か、という基本方針が示されています。全体的な計画や指導計画を作成する際の大切なガイドラインです。平成29年に改定された保育所保育指針のポイントを確認して保育に活かしましょう。

● 平成29年の保育所保育指針改定のポイント

◆ 第1章総則に「養護」の項目が入る

「養護」とは「生命の保持及び情緒の安定」のための関わりのことです。総則に示されたことで、「養護」は乳幼児期の保育の基本だと示されました。

◆ 乳児保育と1歳以上3歳未満児の保育の加筆

「乳児保育」と「1歳以上3歳未満児の保育」のねらい及び内容が大幅に加えられました。0・1・2歳児の保育について細かく記載されました。

◆ 保育所は「幼児教育を行う施設」

保育所は、幼稚園や幼保連携型認定こども園とともに「幼児教育を行う施設」として位置付けられました。

◆ 「子育て支援」の重要性

子どもを社会全体で育てるという「子ども・子育て支援新制度」の理念を反映させて、保育所も子育ての一翼を担うことが示されました。保護者へのアセスメントの大切さが示されました。

◆ 「資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が入る

保育所をはじめとする幼児教育を行う施設と、小学校以上の教育との接続の観点から、幼児教育で子どもたちに育まれる力を「資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として示しました。

◆ 「災害への備え」の章の追加

日本各地で起きた大規模災害に学び、大規模な災害が起こることを想定して災害に備えて対策を立てるよう示されました。

3.4.5歳児の発達を 捉えて保育をしよう！

保育に必要なのは、よく子どもを見て「その子どもが何を必要としているのか」を読み取ることです。3.4.5歳児の育ちを捉えましょう。

P134の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）に示されている姿で保育を振り返ることも大切です。

● 3歳児の発達



◆ 言葉で伝える

身の周りの環境に興味をもち、興味や関心のあつたことを言葉にするようになる。



◆ 友だちとの関わり

友だちと一緒に遊ぶようになる。はじめは平行遊びの場合が多いが、ごっこあそびなどで友だちと遊ぶようになる。

◆ 生活習慣の自立

衣類の着脱、食事、排泄などほぼ自立できるようになる。



🍎 4歳児の発達



◆予測し期待しながら遊ぶ

「スカイツリーを作ろう」などと予測し期待しながら遊ぶようになる



◆葛藤を経験する

友だちと遊ぶ中で、自分の思い通りにならない経験や気持ちの折り合いをつける経験をする。

◆全身の運動機能の発達

全身のバランスがよくなり体を動かすことができる。



🍎 5歳児の発達



◆協同性の芽生え

友だちと相談しながら、同じ目的をもって役割分担や協力して遊ぶようになる。



◆見通しをもって生活する

外遊びの後は手洗いうがいをするなど、見通しをもって行動するようになる。



◆相手を思いやる

子ども同士がけんかを解決して自分たちで解決するなど、相手の違いを認めて思いやりながら行動することができる。

第1章

ステキな保育者になるために!

園の職員としてしっかり働くため、子どもたちとの時間をよりよくするために、保育者として必要なことを確認しましょう。

LET'S TRY!

1

社会人としての 第一歩！

ようこそ保育の道へ！ 子どもが好きだから、子どものためになる仕事に就きたかったなど、いろいろな理由で保育者になったのではないのでしょうか。さあ、いよいよ始まります。園では、同期や先輩の保育者、主任の先生、園長先生、その他にもいろいろな職員と一緒に働くことになります。新人保育者として、教えていただき支えていただく立場だということをわきまえて、仕事に向き合しましょう！

よりよい仕事はよい人間関係から



◆よりよく働けるように

保育者として、子どもたちとの時間をよりよいものにするためにも、同僚や保護者などとの人間関係はとても大切です。周りの人たちから信頼してもらうためには、マナーや約束を守ることや、身だしなみを整えたりすることは大切です。

よい仕事をするためにも、よい人間関係を築けるようにしましょう。



◆明るく挨拶をしよう

明るい挨拶で1日を始めましょう。仕事を始める時は「おはようございます」「よろしくお願いします」など、帰る時には「お先に失礼します」などと挨拶をします。園内だけではなく、園の前ですれ違う保護者にも「おはようございます」「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」「さようなら」などと、園での挨拶と同じように声をかけるとよいでしょう。

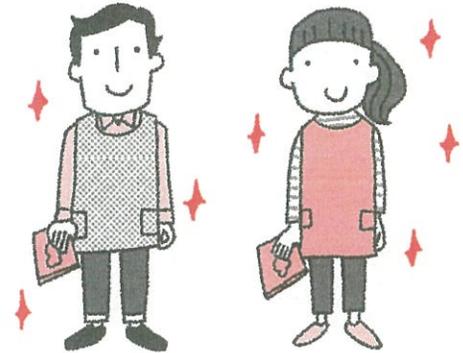
こんな保育者がステキ！

◆身だしなみを整える

その場にふさわしく、清潔な服装をしましょう。

子どもたちも安心して過ごすことができ、保護者からも「安心して預けられる」と思ってもらえるように、清潔感のある身なりでありたいものです。

爪は短く、女性は髪の毛を結びアクセサリはしない、男性は短めの髪に整える、など園で決められている場合もありますので確認しましょう。



◆丁寧な言葉で話す

保育者は先輩や同期の保育者、保護者、子どもたち、地域の方々などたくさんの人とやりとりします。その場にふさわしく、丁寧な言葉で話すようにしましょう。